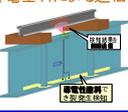
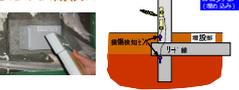
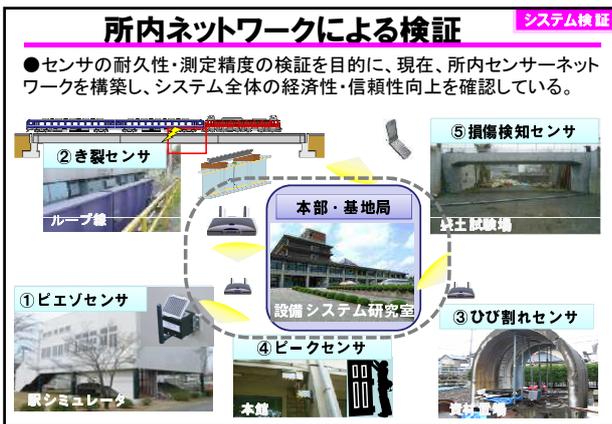
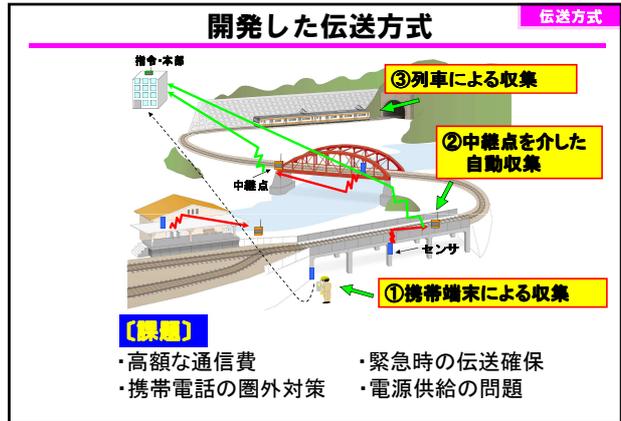


開発した実用センサ群			センサー開発
●用いるセンサは伝送に適し、安価で耐久性が高いことが求められる。			
常時モニタリング	き裂センサ 導電塗料による送信 	ひび割れセンサ πゲージによる送信 	ピエゾセンサ 駅舎における振動送信 
	損傷検知センサ 基礎の損傷検知 		ピークセンサ 部材の最大変位の計測 
異常時モニタリング			



- ### まとめ
1. 鉄道構造物は平均経年約60年、対応は喫緊の課題
 2. 予防保全からリニューアル時代へ、技術者不足への対応
 3. P/Cが高い補修・補強・取替技術の開発
 4. 将来に向けた技術開発の例(センサネットワークシステム)
- JR Railway Technical Research Institute